ビジネス会計検定 3 級 オリジナルテキスト

簿記の学習をした事がない方へ

経理超入門で基本のみ押さえよう!!

巻末に推奨の時間配分を記しています



ビジネス会計検定3級 基礎レジュメ

試験の概要

3 級

到達目標	会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎 的な力を身につける。
出題韓田	1. 財務諸表の構造や読み方に関する基礎知識 (1)財務諸表とは (2)貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・プロー計算書の構造と読み方 2. 財務諸表の基本的な分析 (1)基本分析 (2)成長率および伸び率の分析 (3)安全性の分析 (4)収益性の分析 (5)1株当たり分析 (6)1人当たり分析
問題構成・制限時間	マークシート方式: 2時間
合格基準	100点満点で、70点以上の得点

びジネス会計検定試験3級試験問題例

2 級

到達目標	企業の経営戦略や事業戦略を理解するため、財務諸表を分析する力を身につけ る。
出題範囲	1. 財務諸表の構造や読み方、財務諸表を取り巻く諸法令に関する知識 (1)会計の意義と制度 (2)連結財務諸表の構造と読み方 2. 財務諸表の応用的な分析 (1)基本分析 (2)安全性の分析 (3)収益性の分析 (4)キャッシュ・フローの分析 (5)連単倍率 (6)損益分岐点分析 (7)1株当たり分析 (8)1人当たり分析
問題構成-制限時間	マークシート方式: 2時間
合格基準	100点満点で、70点以上の得点

● ビジネス会計検定試験 2級試験問題例



到達目標	企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解・判断するため、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し企業評価できる力を身につける。
出題範囲	1. 会計情報に関する総合的な知識 (1)ディスクロージャー (会社法上のディスクロージャー、金融商品取引法上のディスクロージャー、証券取引所のディスクロージャー、インベスター・リレーションズ(IR)、ディスクロージャーの電子化) (2)財務諸表と計算書類 (財務諸表の体系、連結損益計算書・連結包括利益計算書・連結貸借対照表・連結キャッシュ・プロー計算書・連結株主資本等変動計算書の内容、連結附属明細表と連結注記表、四半期財務諸表の体系と内容) (3)財務諸表項目の要点 (金融資産、棚卸資産、固定資産と減損、繰延資産と研究開発費、金融負債、引当金と退職給付、純資産、外貨換算、リース会計、税効果、セグメント情報、会計上の変更および誤謬の訂正、企業結合・事業分離) (4)財務諸表の作成原理 (概念フレームワーク、会計基準、内部統制) 2. 財務諸表を含む会計情報のより高度な分析 (財務諸表分析 (財務諸表分析 (財務諸表分析) (2)企業価値分析 (企業価値分析 (企業価値分析 (企業価値分析 (企業価値)が有、企業価値に運動の意義と基本的な考え方、割引キャッシュ・プロー法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に運動、資本コスト、エコノミック・プロフィット法による企業価値に対しています。
問題構成·制限時 間	マークシート方式および論述式:2時間30分
合格基準	200点満点で、論述式50点以上かつ全体で140点以上の得点
	▶ ビジネス検定試験 1級試験問題例

- 受験要項

2013年度	第13回	第14回
施行日	2013年9月1日(日)	2014年3月9日(日)
実施級	3級・2級	3級-2級-1級
申込期間	6月24日(月)~ 7月26日(金)	1月6日(月)~ 1月31日(金)
受験票発送	8月16日(金)	2014年2月20日(木)
受験票未着 問合せ期間	8月23日(木)・24日(金)	2013年2月27日(木)・28日(金)
成績票·合格証 発送日	10月9日 (水)	3·2級=2014年4月16日(木) 1級=2014年4月30日(金)
成績票未着 問合せ期間	10月17日(木)・18日(金)	3·2級=2014年4月24日〈木〉·25日〈金〉 1級=2014年5月8日〈木〉·9日〈金〉
試験会場	札幌・仙台・新潟・東京・横浜・静岡・名古屋・京都・ 大阪・神戸・岡山・広島・山口・松山・福岡より選択できます。	

試験時間	3級:13:30~(制限時間2時間) 2級:10:00~(制限時間2時間) 1級:13:30~(制限時間2時間30分)	
受験料(税込み)	3級: 4,200円 2級: 6,300円 1級: 10,500円	
受験資格	・学歴・年齢・性別・国籍に制限はありません。 ・希望の級から受験可能です。 ・連続する2つの級を同日に受験することができます。	
試験当日に 持参するもの	・受験票を紛失した場合は、受験票未着問合せ期間内にお問合せの上、再交付の手続きをしてください。上記期間以降は試験会場にて試験開始前に受験票の再交付を受けてください。 ・筆記用具 ※HBまたはBの黒鉛筆およびシャーブペンシル、消しゴムのみ ・電卓または、そろばん ※四則演算機能のみの電卓。印刷機能、メロディ機能、プログラム機能(例:関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓)、辞書機能等のあるものは使用できません。 ただし、次のような機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。 ・日数計算 ・時間計算 ・換算 ・税計算 ・検算(音の出ないものに限る) ・身分証明書 ※運転免許証、バスボート、学生証、社員証など、原則として、氏名・生年月日・顔写真が揃って確認できるもの。 ※上記の証明書をお持ちでない方は、事前にご連絡ください。 ・会場により、上履きが必要な場合があります。 ※必要な場合は、受験票に記載しますのでご確認ください。	
受験上の注意	○対に該当する行為を行った受験者は、その場で退場・失格、答案の採点はせず、今後の受験も認めません。 ・試験中に他の人に援助を与える、または受ける、他の人の代わりに受験する。 ・試験監督の指示に従わない。 ・携帯電話・PHSなどの通信機器の電源を切らない、カバンにしまわない、身に着けている(時計・電卓としても使用不可) ・答案用紙を試験会場から持ち出す。 ・他の受験者に迷惑行為を行う、試験に対する妨害行為におよぶ。 ・その他の不正行為 ・試験中に一旦退出すると再入場はできません。 ・受験者の答案は一切公表いたしません。また、問題の内容に関する質問には一切お答えできません。 ・試験時間に遅刻、試験会場を間違えると受験できません。 ・活験はいただる場合は、場合があります。・自然災害、不可抗力等により主催者都合で試験が施行されなかった場合、自然災害、火災、盗難、システム上の障害等により答案が喪失、焼失、紛失し採点できなくなった場合は、当該受験者に受験料のみを全額返還いたします。ただし、これにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら	

大阪商工会議所ホームページより

CMCが提案する「会計学習方法」

<日商簿記1級 or 全経上級に通りたい>

日商簿記3級→日商簿記2級→全経簿記上級→日商簿記1級

推奨スケシ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ 6月3級 \rightarrow 11月2級、全経1級 \rightarrow 2月全経上級

11 月 3 級→ 2 月 2 級→7 月全経上級→11 月日商 1 級

2月3級 \rightarrow 6月2級 \rightarrow 11月日商1級 \rightarrow 2月全経上級

<税理士に通りたい>

日商簿記3級→日商簿記2級→全経簿記上級

簿記論・財務諸表論

→日商簿記1級

推奨スケシ ュール: 6月3級 \rightarrow 11月2級、全経1級 \rightarrow 2月全経上級 \rightarrow 8月(簿財)

<中小企業診断士になりたい>

日商簿記 2 級→ビジネス会計検定 3·2 級→ビジネス会計検定 1 級→中小企業診断士

推奨スケシ ュール: 6月日商簿記 2級→9月 ビジネス会計検定 3、2級→2月全経上級 →3月 ビジネス会計検定 1級→8月中小企業診断士 1次→10月中小企業診断士 2次

※中小企業診断士で受験生が悩むのは「財務会計」です。診断士試験は2次試験まであり、データ整理能力(ロジカルシンキング)とレポート作成能力(ロジカルライティング)が求められます。

ビジネス会計検定 1 級はまさにロジカルシンキング+ライティングが求められる資格です。 この学習を行う事で、中小企業診断士の学習で他の受講生より圧倒的に有利になります。

ビジネス会計検定3級の学習方法

<簿記の学習済>

第1章から第3章は 解説を聞いたら、問題を1回転して下さい。

80%程度の回答ができたら、第4章を軽く確認して下さい。

第5章の分析の解説はしっかり聞き、分析問題も80%取れる程度まで繰り返し解いてください。

総合問題は特に6-6から6-9を繰り返し解き、時間があれば満点が取れるまで繰り返してください。時間のない方は80%を目標にして下さい。

<簿記の学習をした事がない方>

経理超入門の解説を聞いてください。 簿記の概念を30分程度にまとめています。

後は、上記の学習方法と同じです

<当日の対応方法>

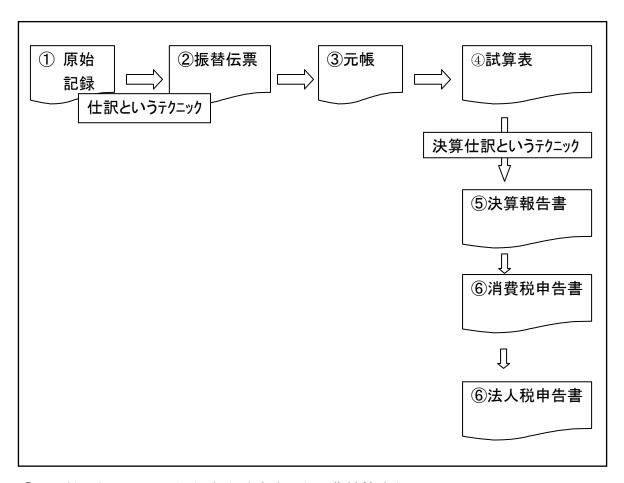
電卓・シャープペンシル・時計は、できれば同じものを 2 種類持って行ってください。私は、ある試験の模擬試験で突然電卓が壊れた事があります。

会場には30分前には入ってください。

弥生さくらの「経理超入門」

簿記の基礎がわかっている方には退屈な話かもしれませんが少しお付き合い下さい。

経理の流れを覗いてみましょう。



① 原始記録 領収書や請求書、交通費精算書など

② 振替伝票 仕訳というテクニックを使って記入する伝票

③ 元帳 交通費や現金など項目毎に記入する帳面

④ 試算表 帳簿記入(略して簿記)に間違いがないかチェックする集計表

⑤ 決算報告書 投資家(株主等)や債権者(銀行等)へ報告する資料

⑥ 税申告書 税務署へ提出する資料

経理実務の経験のない方、簿記資格を今からとろうと考えておられる方。 一度前ページの表に下記の内容を書き込んで下さい。

① 原始記録

交通費精算書 (京橋~神戸 往復1,000円)

請求書(控) (5,000円)

領収書 (接待 1,000 円)(打合せ 1,000 円)

② 振替伝票

交通費 1,000/現金 1,000

現 金5,000/売上5,000

交際費 1,000/現金 1,000

会議費 1,000/現金 1,000

現金が会社の金庫から出て行くと、右側に書きます。

③ 元帳

経理の仕事がはじめてでも多分大丈夫です。このように書くだけです

交通	費	交	際費	会	議費
1, 000		1, 000		1, 000	

現金		売上	
5, 000	1, 000		5, 000
	1, 000		
	1, 000		

いかがですか?伝票の右にあるものは右に、左にあるものは左に書くだけです。これなら誰でも出来ますね。

会社によっては元帳の事を台帳というところもあります。 気をつけてください。

④試算表

T/B ともいいます。TrialBalance(左右の合計がバランスしているか確認する表です) これも簡単に作成できます。

あらかじめ、現金や交通費等の名前が印刷されている表に合計金額を書き込むだけです。

こんな感じです。

合計試算表(T/B)

5, 000	現 金 売 上	3, 000 5, 000
1, 000 1, 000 1, 000	交際費 会議費 交通費	
8, 000	合 計	8, 000

いかがですか?これも大丈夫だと思います。

弥生会計では伝票を入力すれば自動的に作成されます。もちろん印刷もできます。

ここまでを確認すると、仕訳というテクニックをマスターすれば(実は初学者にはこれが一番大変なのですが・・)、あとは簡単な作業のオンパレードです。

簿記3級の第3問では約30点、簿記2級の第2問では帳簿からの試算表や伝票からの日計表で配点は約20点、同じ考え方で作成できます。

①から④の作業

これは社内の作業なのです。

試算(試し算)の状態を外部に報告すると、間違いがあったりするとマズイですよね。

ここで実務にも試験にも役立つテクニックを少し

合計が合わない時のチェック方法です

例えば交際費の 1,000 円を書き忘れたら、左側(借方といいます)の合計が 2,000 円、右側(貸方といいます)の合計が 3,000 円。

このケースは差額の1,000円の電卓叩き忘れまたは書き忘れになります。

	1,000	1,000
.#	1,000	1,000
3,000-2,000=1,000	1,000	
***************************************	3,000	2,000

例えば交際費を 100 円と書いてしまったら。左側 2,100 円、右側 3,000 円。差額は 900 円。探してみても 900 円はない。こういう時は 9 で割りましょう。割り切れます。1,000 円と 100 円の書き間違いが考えられます。

100	1,000	
1,000	1,000	2,000, 2,100-000
1,000	1,000	3,000-2,100=900
2,100	3,000	900÷9=100

200 と 2,000 なら 1,800 円の差、300 と 3,000 なら 2,700 円の差。どのパターンでも同じ。大丈夫ですね。

最後に、交際費の 1,000 円を間違って右に書いてしまったら、左側は 2,000 円、右側は 4,000 円。差額は 2,000 円。2,000 円の入力漏れではない、9 で割り切れない。こういう時は 2 で割りましょう。割切れたら 1,000 円の左右の書き間違いが考えられます。

	1,000)	
	1,000)	<i>:</i>
1,000	1,000)	4,000-2,000=2,000
1,000	1,000)	2,000÷2=1,000
 2,000	4,000)	

⑤決算報告書

皆さん、報告という言葉から何を連想しますか?

上司への報告、顧客への報告など関係者に何らかの状況を書類などにまとめて経緯や 結果を述べることですよね。

という事は、相手に「みやすく」「美しく」体裁を整える必要があります。

試算表までが内部(たまに銀行などに提出しますが)の資料、決算報告書は外部への 資料。

私たちも家の中と外とでは、服装が違います。女性の方は(近頃は男性も)化粧もします。

この事をイメージすると、試算表と財務諸表(決算報告書)の書き方の違いが理解できます。



「サクッとうかる日商3級商業簿記テキスト」(改訂四版)をお持ちの方

P326 の試算表(内部資料)を参考にして下さい。貸倒引当金と減価償却累計額に注目して下さい。

貸方側(右側という認識でOK)に金額が表示されています。

P328 の貸借対照表(外部報告資料)をみてください。

どうですか。左側に書かれていますね。

詳細は簿記の学習に委ねますが、内部資料では右に書いたものは右。チェックする為だから当然ですね。

でも外部(投資家=株主や債権者=銀行)に報告する場合は、「売ったけど未だ回収出来ていないお金(売掛金)は 20,000 円あるが、得意先が倒産して回収できなくなる可能性が 400 円くらいあるので 19,600 円しか現金として回収できないかもしれません」という事をわかりやすくする為に売掛金のすぐ下に書いているのですね。

こう考えると納得して学習できると思います。

経理の仕事(税務も含む)はこの通り転記・転記・転記です。

簡単にいうとルールがわかればアルバイトの人にでもすぐにできる仕事です。

事実、元帳と試算表は当時小学5年生の息子(さくらの息子ではありませんが・・)で試しましたので、皆さんも大丈夫だと思います。

仕訳だけは、学習するしかありません。でも丸暗記する必要もありません。 慣れがすべてを解決してくれます。

でも気になりますね。「仕訳って何だ?」

簿記では「ひとつの取引を2つ以上の勘定科目に分けること」となります。

最初は難しく感じます。でも安心してください。頑張れば(という条件つきですが)10日 もあれば理解できます。(というか手が覚えます)

誤解を恐れずに言わせて頂きます。「仕訳を覚えることが会計の本質ではありません」 でも「仕訳を覚えないと簿記の資格も取れないし、実務もできません。」

仕訳の学習は簿記のテキストなどで確認して下さい。 当スクールおすすめのテキストは



- ◆ 「サクッとうかる日商3級商業簿記テキスト」(改訂四版)860円(税別)
- ◆ 「すいすい♪簿記 マンガみてGO!日商3級|820円(税別)

いずれもネットスクール出版から発刊されています。

第1章 財務諸表とは

財務会計・・・外部に報告する事を目的とする会計= (法) 制度会計

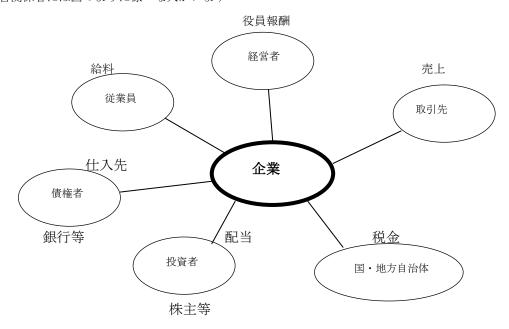
管理会計・・・改善や意思決定に関連する情報を経営陣に報告する会計 (標準原価計算・直接原価計算・意思決定会計)

財務諸表の種類

会社法上の計算書類	金融商品取引法上の財務諸表
貸借対照表	貸借対照表
損益計算書	損益計算書
株主資本等変動計算書	株主資本等変動計算書
個別注記表	キャッシュフロー計算書
	附属明細表

※金融商品取引法=上場企業が対象 会社法=すべての企業が対象 「中小企業にまでキャッシュフロー計算書求めるのは酷」と覚えよう

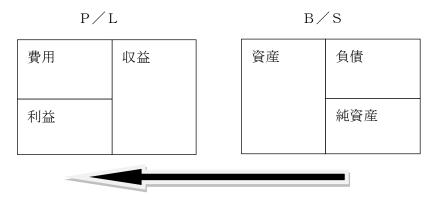
企業はステークホルダー (利害関係者) にわかりやすい財務諸表を作成する必要があります 利害関係者には図のように様々な人がいます



例題 1-1 から 1-3 をして下さい (類題を除く)

第2章 貸借対照表 (Balance Sheet)

貸借対照表と損益計算書



右から左への関係をみてみよう

他人から調達した借入金(負債=他人資本)と自分で調達したお金(純資産)で 設備投資(資産)をし、それによって売上(収益)をあげ、利益を得る

この関係を理解しておいて下さい

勘定式と報告式

上の図は勘定式での配列方法です

報告式は主に損益計算書で多くみられます。下記のような形式です。

 < 収益 >

 売上原 (

 期 (

 売上原 (

 期 (

 市 (

 期 (

 市 (

 市 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

 (

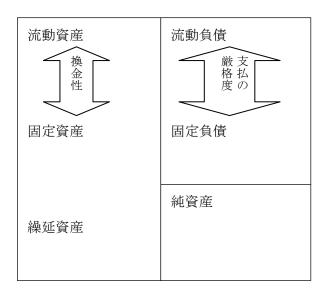
 (

 (

 (

報告書を書くイメージです。

貸借対照表の表示

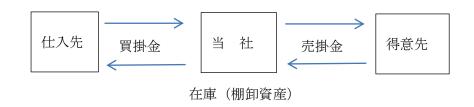


流動:基本的には1年以内に決済されるもの

固定:上記以外

流動と固定の区分の方法は

<正常営業循環基準でまず区切る>



< それ以外のものは1年基準 (ワンイヤールール) >

決算日の翌日から起算して 1 年以内に履行期日の到来する債権および債務については流動資産ないし流動負債とし、それ以外は固定資産ないし固定負債とする基準

配列方法

<流動性配列法

前ページの貸借対照表の表示方法です

現金及び預金→受取手形→売掛金→有価証券→棚卸資産→ (現金化が早いもの順に表示する)

<固定性配列法

電力業・ガス業のような設備産業は固定資産の有無で企業力を図ることができるとされており、流動と固定を逆に配列する方法がとられています。

<総額主義の原則

貸付金と借入金を相殺すると、資金の調達源泉と運用形態の関係がわからなくなります。

<重要性の原則

企業会計の目的は、企業の財政状態を明らかにし、企業の状況に関する利害関係者の判断を誤らせないことにあります。そのため、利害関係者の判断に影響を及ぼさない程度に重要性の乏しい取引については、本来の厳密な会計処理によらないで、他の簡便な方法によることが認められています。

そのため、本来の厳密な会計処理によらず他の簡便な方法によった結果、簿外 資産・簿外負債が生じたとしても、それは正規の簿記の原則に従って会計処理 された結果とみなされ、企業会計原則においても貸借対照表完全性の原則の例 外として認められています。

貸借対照表のひな形に関しては別紙を参照してください

例題 2-1~2-9 までして下さい (類題は除く)

<流動資産の詳細>

項目	説明
現金および預金	通貨・通貨代用証券・預貯金
受取手形	約束手形・為替手形
売掛金	営業上の未収入金
有価証券	売買目的有価証券、1年以内に満期日の
	到来する社債など
	<参考>
	満期保有目的債権=固定資産
	(※満期日が1年以内は流動資産)
	子会社・関連会社株式=固定資産
	その他有価証券=固定資産
棚卸資産	販売する目的で保有している商品・製
	品・原材料・仕掛品・貯蔵品等
前渡金	商品・原材料などの購入代金を先払いし
	た金額
前払費用	一定の契約に従って継続してサービス
	の提供を受ける場合の代金の前払い分
繰延税金資産	税効果会計の適用による前払税金
未収収益	一定の契約に従って継続してサービス
	の提供を行う場合に、すでに提供したサ
	ービスに対して、いまだその対価の支払
	いを受けていない額
短期貸付金	1年以内に期限の到来する貸付金
未収入金	主たる営業活動以外の取引から生じた
	未収額

※1年以内=決算日の翌日から起算して1年以内

<有形固定資産の詳細>

項目	説明
建物	店舗・工場・事務所などの建造物
構築物	橋・下水道・道路など土地に定着した工
	作物(建物を除く)
機械・装置	各種の機械や設備
車両運搬具	鉄道車両・自動車など陸上運搬具
工具器具備品	工具・PC・コピー等の資産で耐用年数
	が1年以上、金額が一定以上のもの
土地	自己所有の土地
建設仮勘定	工事の完成までに支払った仮払金

<減価償却の概念> (建設仮勘定は減価償却しない)

売上が毎年 500,000 円のタクシー会社が 900,000 円の車両を購入した時に、固定 資産を購入時の費用とした時の問題点を考えてみよう

<無形固定資産の詳細>

項目	説明
のれん	合併などで支払った額が、相手の会社の
	純資産を超えているときの金額
	超過収益力
	ソフトバンクの Yahoo やボーダフォン買収
	時には多額ののれんが計上された
特許権	自然法則を利用した技術的発明を独占
	的に使用できる権利
商標権	文字や図形からなる商品の商標を独占
	的に使用する権利
ソフトウェア	コンピュータを作動させるソフトウェ
	アの制作に要した費用やバージョンア
	ップ費用など

<投資その他の資産の詳細>

投資有価証券	流動資産の有価証券を参照
長期貸付金	1年を超えて満期となる貸付金
長期前払費用	前払費用の1年超バージョン

<繰延資産の詳細>

すでに対価の支払いが完了しているかあるいは支払義務が確定し、これに対応する役務の提供を受けたにもかかわらず、その効果が将来にわたって発現すると期待されるため、その支出額を効果がおよぶ将来の期間に費用として合理的に配分するために、経過的に貸借対照表に資産として計上された項目。

項目	説明
創立費	会社を設立する為に要した費用
開業費	設立後、営業開始までに支出する準備費
	用
開発費	新技術開発、市場開拓の為の費用

※研究開発費は費用です

<流動負債の詳細>

<流動負債の詳細>	
項目	説明
支払手形	支払手形・為替手形の引受け
買掛金	営業上の未払金
短期借入金	1年以内に返済期限の到来する借入金
未払金	営業活動以外の未払額
未払費用	一定の契約に従って、継続してサービス
	の提供を受ける場合に、すでにサービス
	の提供を受けた期間の対価をまだ支払
	っていない場合の未払分
繰延税金負債	税効果会計の適用による未払税金
前受金	商品等の代金を先に受け取った場合の、
	将来商品を引き渡す義務
預り金	後に第三者へ支払う事を前提に第三者
	から受け取った金額
前受収益	一定の契約に従って、継続してサービス
	の提供を行う場合に、サービスをいまだ
	提供していないにも関わらず先に対価
	を受け取った場合の前受分
引当金	(a)将来の特定の費用または損失に関す
※貸倒引当金	るものであり(b)その発生が当期以前の
退職給付引当金	出来事に起因しており(c)その発生の可
製品保証引当金	能性が高く(d)その額を合理的に見積も
	ることができるもの
社債(1年以内償還)	有価証券としての社債券を発行し資金
	調達を行ったことから生じる債務の内1
	年以内に償還期限の到来するもの

<固定負債の詳細>

項目	説明
社債	1年超えて償還期限の到来するもの
長期借入金	1年超えて返済期限の到来する借入金
引当金	固定性の引当金(退職給付引当金等)

<純資産の項目>

項目	分類	説明
資本金	株主資本	株主からの払込額
資本剰余金		資本準備金など
利益剰余金		繰越利益など
自己株式		市場から自社の株式を買い戻した額
その他有価証券評	評価換算差額	その他有価証券の期末の評価損益
価差額金		P/L を経由せず直接 B/S に入る(直入法)
繰延ヘッジ損益		リスクに対する対処 (ヘッジ) がある場合に、
		リスクの結果が確定するまで
新株予約権	新株予約権	会社対して一定期間、あらかじめ定められ
		た価額で株式の交付を請求できる権利
		現在の株主からの払込み資本とは違う

第3章 損益計算書 (Profit and Loss Statement)

損益計算書も総額主義の原則が適用されます。 でなければP/Lは当期純利益1行だけになってしまいます

5つの利益を理解しよう

売上高

売上原価

<商業>	
期首商品棚卸高	1,000
当期商品仕入高	15,000
合計	16,000
期末商品棚卸高	2,000
売上原価	14,000

<製造業>		
期首製品棚卸高	1,000	
当期製品製造原価	15,000	
合計	16,000	
期末製品棚卸高	2,000	
売上原価	14,000	

(売上総利益) 取扱商品の収益力を示す

販売費及び一般管理費

(営業利益) 本業の収益力を示す

営業外収益

営業外費用

(経常利益) 財務損益もあわせた経営努力の結果を示す

特別利益

特別損失

(税引前当期純利益)法人税等の計算の元になる利益を示す

法人税、住民税及び事業税

法人税調整額

(当期純利益) 配当原資の最終利益を示す

※期末商品や期末製品は一般的に実地棚卸によって確認します 簿記の試験では、期末実在庫数が帳簿在庫より多い問題は出ませんが、実務 では帳簿在庫数よりも実地棚卸数が多いケースもあります

<損益計算書のルール>

発生主義の原則

経済の発展過程の初期には現金の受払いで利益の計算を行っていた。 信用経済の発達とともに、現金主義では正確な利益計算ができなくなり、発生 主義が登場しました。

実現主義の原則

価値の増加を発生とみなすと、工場でつくっている途中のものまで収益計上する必要があります。そこで収益の計上に関しては対価の受け取りが確実になった時点にします。

実現主義の例外として長期工事の収益計上があります。

費用収益対応の原則

実現主義にもとづいて収益を計上したなら、それに対する費用を発生主義にも とづいて計上し、収益と費用を対応させて損益計算書に表示します。

<具体例>

@100で10個仕入れた(発生主義で処理)

仕入 1,000 / 買掛金 1,000

@200で4個売上

売掛金 800 / 売上 800 (実現主義で処理)

費用を収益に対応させる(費用収益対応の原則)

繰越商品 600 / 仕入600

例題 3-1~3-6 をして下さい

<販売費および一般管理費の詳細>

項目	説明
販売手数料	販売受託者や仲介者に払うマージン
広告宣伝費	広告や宣伝にかかる費用
役員報酬 (人件費)	役員に支払う給料
給料 (人件費)	販売や管理業務に携わる一般社員への給料
賞与 (人件費)	販売や管理業務に携わる一般社員への特別な給料
福利厚生費 (人件費)	社員旅行や慶弔費
法定福利費 (人件費)	社会保険の会社負担額
交際費	営業上の接待などに使った金額
旅費交通費	業務上や出張に必要な交通費・宿泊費
通信費	郵便・電話・インターネットプロバイダ料など
水道光熱費	水道・電気・ガス
租税公課	固定資産税・事業税・印紙税等
減価償却費	固定資産の使用による価値減少分
支払保険料	火災保険・損害保険等
賃借料 (リース料)	建物・土地・機械
研究開発費	研究や開発にかかわる費用
貸倒引当金繰入額	営業債権に対する回収不能見込み額

<営業外収益>

項目	説明
受取利息	預貯金等の利息
有価証券利息	債権の利息
有価証券売却益	売買目的有価証券
	を売却した利益
有価証券評価益	売買目的有価証券
	の決算時の評価益
受取配当金	所有する株式から
	得られる配当金
雑収入	少額かつ重要性の
	低いその他の収益

<営業外費用>の詳細

項目	説明
支払利息	借入金への利息
社債利息	発行社債の利息
有価証券売却損	売買目的有価証券
	を売却した損失
有価証券評価損	売買目的有価証券
	の決算時の評価損
雑支出	少額かつ重要性の
	低いその他の費用

考えてみよう

なぜ支払配当金は営業外費用ではないのだろう?

<特別利益>

<特別損失>の詳細

項目	説明
固定資産売却益	土地建物等を売却
	して生じた利益
投資有価証券売	長期保有目的の株
却益	式などを売却した
	時の利益

項目	説明
固定資産売却損	土地建物等を売却
	して生じた損失
投資有価証券売	長期保有目的の株
却損	式などを売却した
	時の損失
減損損失	固定資産の価値が
	大幅に減少した時
	の評価損
災害損失	災害・地震などに
	よって生じた損失

※覚え方

普通じゃないから特別

あまり聞いたことのない名前だから特別

税効果会計(当スクールで開催している日商簿記1級講座のレジュメより抜粋します)

企業毎の適正利益の計算が目的の会計と、すべての企業に公平な税負担を求める法人税法 の考え方の相違から、会計上の利益と税法上の所得にズレが出る。

このズレを調整するのが税効果会計。

具体的には、次の3つの科目を使うだけ

[繰延税金資産] ≒ 前払い税金

[繰延税金負債] ≒ 未払税金

[法人税等調整額] ≒ 法人税

<例題>

300,000 円の機械を税法基準で 3 年で償却すべきところを 2 年で償却した。 売上は 3 年間毎年 200,000 円、経費は減価償却費のみとする。税率は 40%とする。

	1期	2 期	3 期
売上	200,000	200,000	200,000
減価償却費	150,000	150,000	
税引前利益	50,000	50,000	
法人税	40,000	40,000	40,000(税法上の税金)
法人税等調整額	$ riangle 20,\!000$	$\triangle 20{,}000$	40,000
	20,000	20,000	80,000 (会計上の税金)
当期純利益	30,000	30,000	120,000

(2年で償却してしまうと考えていたが、丁寧に使ったので3年目も使用できたという仮定で作成しました。) 税法では、減価償却費は毎年 100,000 円と考えるわけです

1期と2期

繰延税金資産 20,000/法人税等調整額 20,000 (税法が経費と認めないので、税金を多く払った→前払いした→資産) 前払税金20,000/法人税20,000と考えれば良い

3期

法人税等調整額 40,000/繰延税金資産 40,000 (税法が経費と認めるので、前払税金を費用として計上した) 法人税 40,000/前払税金 40,000 と考えれば良い

第4章 キャッシュフロー計算書

キャッシュ:現金および現金同等物

手許現金及び要求払い預金(事前通知なしに引き出せる)

現金同等物: < 容易に換金可能なもの>かつ<価値変動リスクが少ないもの>

∴3か月以内定期は○ 売買目的有価証券は×

資産=負債+資本

現預金+現預金以外の資産=負債+資本 現預金=-現預金以外の資産+負債+資本

という事はキャッシュを増加させるには 売掛金や在庫を減らすか、借金をするか、出資を受ける かである

営業活動によるCF

売上 (得意先)

仕入(仕入先)

給料 (従業員)

利息 (銀行)

税金(国)

残りは株主へ

キャッシュフロー計算書の作り方(間接法)

<営業活動によるCF>本業の現金創出力

- ① 税引前当期純利益を記入する
- ② キャッシュを伴わない損益項目を調整する(減価償却費等)
- ③ 営業外・特別損益項目を調整する(逆算に注意)
- ④ 営業関連の資産・負債の調整 (売掛金・棚卸資産・買掛金等)
- ⑤ 利息や法人税の実質支払額を記入する

<投資活動によるCF>運用

① B/Sの借方を中心に考える(有価証券・有形固定資産・貸付金)

<財務活動によるCF>調達

① B/Sの貸方を中心に考える(借入金・資本金)

過去問題集の例題 4-8 を元に考えましょう

<営業活動によるCF>

① 税引前当期純利益 800

② 減価償却費 500

③ 棚卸資産の増加 △300 仕入債務の増加 200

④ 法人税 $\triangle 100$

<投資活動によるCF>

① 有価証券の売却による収入 200

② 貸付による支出 $\triangle 1700$

<財務活動によるCF>

① 借入による収入 600

② 配当金の支払額 100

直接法と間接法の違いは巻末資料で確認して下さい

キャッシュフロー分析

営業活動によるキャッシュフロー<PLの当期利益

税金は当期利益に対して課税される・・・利益よりもキャッシュの増分が少ないと 資金繰は苦しくなる

営業活動によるキャッシュフローはプラスである事が最低条件

投資活動によるキャッシュフローは通常マイナスになる

営業活動CF>投資活動CFが一般的

逆の場合は財務活動CFの内容を吟味する

企業パターンによる分類

	成長・ベンチャー型	安定企業型	危険企業型
営業CF	80	100	$\triangle 50$
投資CF	△170	riangle 20	70
財務CF	100	$\triangle 30$	$\triangle 30$
現金増加額	10	50	

成長型:財務 CF が「株式の発行による収入」なら安定

安 定:未来への投資が少ないと、現在の主業務が落ち込んだときに注意

危 険:営業マイナス、新規借入よりも返済、その穴埋めを固定資産・有価証券売却で

第5章 財務諸表分析

財務諸表分析の関係者と対象情報

	内部分析	外部分析
分析主体	企業内部者	第三者
情報の制約	多様な情報	公開されている情報
分析目的	経営管理・判断に関する情報 取引開始の判断に関	
		報

定量情報と定性情報

	定量情報	定性情報	
情報の表現手段	数值	文章	
代表的な情報例	財務諸表	経営者の資質	
	販売数量 従業員の熟練度		
	販売シェア 業界での地位		
	生産数量 技術力		
	従業員数	規制の有無	
	株価		

経営分析は、標準指標との比較・他社指標との比較・時系列比較などにより行います 例題 5-1 を確認して下さい

貸借対照表分析

P108の例題 5-2、5-3 を確認して下さい

貸借対照表の各項目の金額

-- × 100 (%)

資産合計(負債・純資産合計でも可)

日本の平均値

流動資産:固定資産=65:35 (投資その他の資産を除く)

製造業の方が固定資産の割合が大きい

例題 5-4 をしてみよう

損益計算書分析

<分析の公式の覚え方>

(***) (+++) 率といった場合

通常、(***) が分母、(+++) が分子になる

もしくはP13のイメージから判断すると右側が分母、左側が分子と考えればよい

損益計算書の各項目 (P9-12) をしっかり把握しておく事が大事

例題 5-5 から 5-9 までしてみよう

趨勢 (すうせい) 分析 <成長性・伸び率>

財務諸表の主要な項目、とくに利益項目や資産ならびに純資産項目を対象としています。 その代表的なものとして、規模の伸びを指標化するために売上高や資産合計などの期間比較を行い推移や伸びをみる。

分析方法には「対前年度比率」と「対基準年度比率」があります

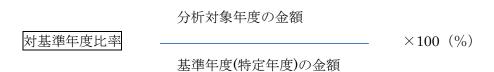
対前年度比率	分析対象年度の金額 ×100 (%)
MINITOLIT	分析対象年度の前年度の金額
伸び率	分析対象年度の金額-分析対象年度の前年度の金額
中 ()、李	分析対象年度の前年度の金額

前年度の営業利益がマイナスの場合
10 期 △1,000 11 期 2,000
3,000

伸び率= ————— =△300% 計算は可能だが意味をなさない
-1,000

※対前年度と伸び率を勘違いしないようにしてください

応用処理(対基準年度比率)



例題 5-10 から 5-13 までしてみよう

安全性の分析

流動負債は短期的に決済しなければなりません。決済は資産で行われますが、擬制資産たる繰延資産(換金性がないという意味)や長期維持が目的の固定資産での決済は現実的ではありません。

そこで短期の支払い能力を分析する為の指標として流動比率があります。

では100%あればいいのか?

棚卸資産が過大で、なお不良在庫が多い場合は注意が必要です。

基本的には130~140%程度あれば良好と考えて問題ないと思われます。

同様の概念に正味運転資本があります。

これは流動資産ー流動負債であらわされ短期の支払い能力をあらわすものです。

BSのボックスを書いてイメージしてみて下さい

自己資本

自己資本比率

×100(%)

負債・純資産計 (株主資本とするケースもある)

資産	負債(他人資本)	
	純資産(自己資本) ・株主資本 ・評価換算差額 ・新株予約権	太字は株主資本

※新株予約権は負債的性格をもつために、株主資本を分母にする場合は算入しない

例題 5-14 から 5-20 までしてみよう

収益性の分析

ROI (Return on Investment) 資本利益率

資本を投下(投資)して利益を得るのが投資家の狙いならば、B/Sの指標とP/Lの指標を組み合わせた分析も必要

一般的には会社全体というよりは事業部に対する業績測定のために使用されるケースが 多い

ROA (Return on Assets) 資産利益率

総資産も総資本も同じなので、結果は同じと考えそうですが、ROA は単純に資産全体を 分母、ROI の場合は投下資本(運転資本などの流動資産、有・無形固定資産など)を選別 するので、一般的には遊休資産(余剰現金を含む)などは含みません。

ROE (Return on Equity) 自己資本利益率

株主が意識するのは、配当原資である当期純利益である事を考えると投資家にとっては 大事な指標

資本利益率の要素分解 (デュポン式)

 利益
 売上高
 利益

 —
 =
 —
 ×
 —

 資本
 資本
 売上高

左辺に売上高__ を乗じて変形すれば良い 売上高

売上高 投資の何倍の売上をあげたか(資本回転率)

資本

利益 売上に占める利益の割合(売上高利益率)

売上高

例えば同じ資本利益率の会社があった場合を想定して下さい

	総資本	売上	利益
A社	10,000	10,000	4,000
B社	5,000	10,000	2,000

	資本回転率	売上高利益率
A社	1回転	40%
B社	2 回転	20%

非常に単純な考え方ですが、A社は客数よりも利益率(ブランド力)で勝負 B社は利益よりも価格で勝負という事がイメージできます。

このような数値を使用し、標準指標との比較・他者指標との比較・時系列比較を行い投資 対象の財務諸表分析を行います。

※自己資本利益率を<財務レバレッジを加えた3要素分解>を行う考え方がありますが、 難易度が高いため当レジュメには記しておりません。

例題 5-21 から 5-25 まで行ってみよう

例題 5-26 から 5-35 は直接解説させて頂きます。

財務諸表分析 補足資料

<大企業の決算書が見られるサイト>

EDINET

決算短信

<経営指標の見られるサイト>

中小企業の経営指標(中小企業庁→調査統計で概要が確認できます)

経営指標 (TKC)

企業分析の方法

外部環境調査(本来は経済動向・法令改正、実際は顧客動向・競合動向)

内部環境調査(本来は経営資源調査、実際は<u>企業内で変化可能な項目の調査</u>) 労務・販売管理・**財務管理**・商品管理・生産管理・情報システム等

市場機会に自社の強みをあてはめる (<u>SWOT 分析</u>・<u>ポジショニング分析</u>) 機会と強み 価格と品ぞろえ

経営方針の決定(<u>目標売上・目標利益</u>・目標シェア) CVP分析

経営戦略の策定(<u>成長戦略</u> 、 <u>競争戦略</u>) 市場と製品 差別化・集中化

個別戦略 (機能戦略)

組織・人事(組織構造と人的資源管理)

生產(受注管理·生產管理)

マーケティング (4 P: Products・Price・Place・Promotion)

財務諸表に反映

他社比較 時系列比較

<財務分析>下記の数値はあくまでも参考数値です

指標	理想	危険	安全圏
売上高営業利益率	10%		6%
売上高経常利益率	11%		4%
流動比率	200%	100%未満	120%~150%
当座比率	120%	50%未満	80%~100%
借入依存度	25	50%(65%超危険)	25~30%
商品回転率(製造業)	12 回転	6回転以下	
商品回転率(流通業)	20 回転	10 回転以下	
売上債権回転率	6回転	3回転以下	
株主資本当期純利益	15%		
率 (ROE)			

P/L分析 \Rightarrow B/S分析 \Rightarrow PL/BS分析 \Rightarrow CF分析

<個別確認>

各種利益の管理<営業利益と経常利益>

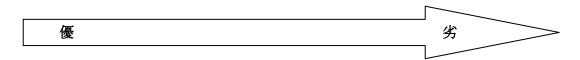
大企業と中小企業の<利益に対する考え方>の相違

安全性と収益性(売上比・投下資本比)

利益の行き先(配当と投資)

投資の原資は? (キャッシュフロー分析)

営業CF	+	+	+	_	_	_
投資CF	_	_	+	_	+	_
財務CF	_	+	_	+	_	_



平成23年8月15日(初版)

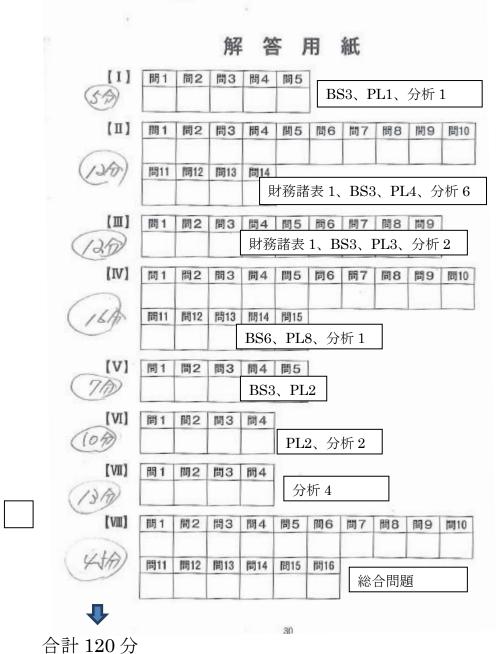
平成24年1月10日(改訂)

作成者 有限会社ケースメソッド 横山 隆志

ビジネス会計検定3級(試験時間対策)

第3回検定の想定時間配分です

- ・正誤は平均1分
- ・計算含む問題は逆算パターンは1.5分。通常計算は1分くらい
- (VI) (VII) (VIII) は確実に B/S・P/L を作成してから一気に回答を導きましょう



2011年8月31日弥生カレッジCMC

キャッシュフロー計算書の詳細

企業の設立から決算、そして決算までを簡単に考えてみましょう

- ① 1,000,000 円の現金で出資を受けて会社を設立した
- ② 300,000 円の営業車両(定額法3年、残存0)を現金で購入した
- ③ 商品を 300,000 円で現金仕入れした
- ④ 現金売上が 500,000 円あった
- ⑤ 商工会議所から 500,000 円借り入れた
- ⑥ 商品を 300,000 円現金で仕入れた
- ⑦ 商品を 600,000 円で現金販売した
- ⑧ 商品を 200,000 円掛けで仕入れた
- ⑨ 商品を 300,000 円掛けで販売した
- ⑩ 従業員に給料を現金で400,000円支払った
- ⑪ 金利を10,000円現金で支払った。
- ② 期末の棚卸で在庫が 100,000 円あった
- ③ 減価償却を実施した(間接法)

弥生会計で入力してみました

平成23年度

仕訳日記帳

1 頁

伝票No 借方補助科目 1億 要 貸方補助科目 4/1 1 200,000 任入高 現金 300 300 300 500,000 現金 現金 300 500 500 500 500 500 600 600 600 600 6			
	貸方勘定科目 貸 方	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	貸方金額
1 300,000 任入高 現金 300 500,000 現金 売上高 500 500,000 現金 短期借入金 500 4 800,000 現金 売上高 800 元上高 800 5/1 200,000 任入高 1月度 合計 日訳数 6 件 2,500 5/1 200,000 任入高 1月度 合計 日訳数 6 件 2,500 5/1 200,000 任入高 1月度 合計 日訳数 6 件 2,500 5/1 200,000 任入高 1月 2 800,000 元掛金 800 5/1 2 800 5/1 2 800,000 元掛金 800 5/1 2 800 5	貸方補助科目	1181 S	
500,000 現金 売上高 500 500,000 現金 短期借入金 500 4 300,000 任入高 現金 300 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度 合計 任訳数 6 件 2,500 5/ 1 200,000 任入高 質掛金 200 300,000 売掛金 売上高 300	現金		300,000
500,000 現金 売上高 500 500,000 現金 短期借入金 500 4 300,000 任入高 現金 300 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度 合計 任訳数 6 件 2,500 5/ 1 200,000 任入高 質掛金 200 300,000 売掛金 売上高 300			
500,000 現金 短期借入金 500 4 300,000任入高 現金 300 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度合計 任訳数 6件 2,500 5/ 1 200,000任入高 質掛金 200 300,000売掛金 売上高 300	現金		300,000
500,000 現金 短期借入金 500 4 300,000任入高 現金 300 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度合計 任訳数 6件 2,500 5/ 1 200,000任入高 質掛金 200 300,000売掛金 売上高 300			500,000
4 300,000 任大高 現金 300 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度 合計 任訳数 6.件 5/ 1 200,000 任大高 質掛金 200 300,000 売掛金 売上高 300	7623		
4 600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度 合計 仕訳数 6.件 2,500 5/1 200,000 任人高 質掛金 200 300,000 売掛金 売上高 300	短期借入金		500,000
600,000 現金 売上高 600 2,500,000 4月度 合計 任訳数 6.件 2,500 5/ 1 200,000 任人高 質掛金 200 300,000 売掛金 売上高 300	現金		300,000
2,500,000 4月度合計 任訳数 6.件 2,500 5/1 200,000任人高 質掛金 200 300,000売掛金 売上高 300			
5/1 200,000任人高 資掛金 200 300,000売掛金 売上高 300	売上高		600,000
2 300,000 売掛金 売上高 300	6. 符	4月度 合計 : : : : : 任訳数 : : : : 6	2,500,000
300,000 売掛金 売上高 300	買掛金		200,000
	<u> </u>		900 000
400,000 給料手当 現金 400	死上(日)		300,000
	現金		400,000
10,000 支払利息 現金 10	現金		10,000
		5月度 合計 : : : :	910,000
3/31 100,000商品 期末商品棚卸高 100	期求商品棚卸高		100,000
	減価償却累計額		100,000
5			
200,900	2.件	決算任訳:合計::・任訳数:::・2:	:-:-: :::::::::::::::::::::::::::::::::

決算書を確認しましょう

次昇音を唯談しましょう 								
貸 借 対 照	表							
平成24年 3月31日 明 ビジネス会計検定	往	(単位: 円)						
24 151241 822		117						
資産の部								
【流動資産】								
現 金 及 び 預 金	1,290,000							
売 掛 金	300,000							
商品	100,000							
流動資産合計		1,690,000						
【固定資産】 【有形固定資産】								
「有形回定真座」 車 両 運 搬 具	300,000							
滅 価 償 却 累 計 額	-100,000							
有形固定資產合計	200,000							
固定資産合計		200,000						
資産の部合計		1,890,000						
負債の部								
【流動負债】								
買 掛 金	200,000							
短期借入金	500,000							
流動負債合計		700,000						
負 債 の 部 合 計		700,000						
that to the major some short								
純資産の部 純資産の部 「株主資本】								
資 本 金	1,000,000							
利益剰余金								
その他利益剰余金								
繰越利益剰余金	190,000							
その他利益剰余金合計	190,000							
利 益 剰 余 金 合 計	190,000							
株主資本合計		1,190,000						
純資産の部合計		1,190,000						
負債及び純資産合計		1,890,000						

	損	益	計	算	書	
		自平至平	成23年 成24年	4月1日	_	
ビジネス会計検定		-	W24-	0/1011		(単位: 円)
【売上高】						
克 上 高					1,400,000	
売 上 高 合	計					1,400,000
【売上原価】						
当 期 商 品 仕 入 高					800,000	
合	計				800,000	
期末商品棚卸高					100,000	
売 上 原	価					700,000
売 上 総 利 益	金	客質				700,000
【販売費及び一般管理費】						
販売費及び一般管理費合計						500,000
営 業 利 益 :	金	額				200,000
【営業外費用】						
支 払 利	息、				10,000	
営 業 外 費 用 合	計					10,000
		額				190,000
税引前当期純利益						190,000
当期純利益	金	額				190,000

			ļ	販売費	及で	び一般管	理費 [勺訳書
					皇至	平成28年 4. 平成24年 3	月 1日月31日	
ビジネス:	会計検定	Z.						
給	料		手	#				400,000
滅	価	償	却	費				100,000

キャッシュ・フロー計算書

自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日 間接法 ビジネス会計検定 円) 目 項 金 額 I 営業活動によるキャッシュ・フロー 税引前当期純利益(損失)金額 190,000 滅価償却費 100,000 期間損益と CFの 支払利息 10,000 売上債権の増加(減少)額 -300,000 関係が明らか たな卸資産の増加(減少)額 -100,000 仕入債務の減少(増加)額 200,000 小計 100,000 利息の支払額 -10,000 営業活動によるキャッシュ・フロー 90,000 Ⅱ投資活動によるキャッシュ・フロー -300,000 有形固定資産の取得による支出 投資活動によるキャッシュ・フロー **皿財務活動によるキャッシュ・フロー** -300,000 短期借入れによる収入 500,000 財務活動によるキャッシュ・フロー 500,000 N現金及び現金同等物に係る換算差額 V現金及び現金同等物の増加額 290,000 VI現金及び現金同等物の期首残高 1,000,000 11.現金及び現金同等物の期末残高 1,290,000

キャッシュ・フロー計算書

自 至			直接法	>	
ビジネス会計検定			(単位	円)	
項目	金	容負			
I 営業活動によるキャッシュ・フロー					
営業収入		1,100,000			
原材料又は商品の仕入れによる支出		-600,000			
人件費の支出		-400,000			
小計		100,000			
利息の支払額		-10,000			
営業活動によるキャッシュ・フロー		90,000			
Ⅱ投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		-300,00	0		
投資活動によるキャッシュ・フロー		-300,000			
Ⅲ財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入れによる収入		500,000			
財務活動によるキャッシュ・フロー		500,000			
Ⅳ現金及び現金同等物に係る換算差額		0			
V現金及び現金同等物の増加額		290,000			
VI現金及び現金同等物の期首残高		1,000,00	0		
現金及び現金同等物の期末残高		1,290,00	0		